

# Kanon

カノン

神奈川県  
合唱連盟  
機関情報誌



発行:2018.1.10

## 祝 県連60周年 祝 カノン100号

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年来ご案内申し上げて参りましたとおり、神奈川県合唱連盟は創立60周年を迎えました。

会員の皆様の合唱への深い情熱と愛情、連盟行事への積極的なご参加、また長きにわたって連盟を支えて下さった諸先生のご尽力、そして神奈川県立音楽堂のご理解とご協力のお陰でございます。改めまして深く感謝申し上げます。



2月11日には音楽堂にお集まり頂き、顧問の先生方の指揮の下、皆様と共に「大地讃頌」「ハレルヤコーラス」等名曲を歌ってお祝いしたいと思います。式典では、60年以上の歴史を持つ横浜紅葉丘合唱団、逗子女声合唱団の演奏、県連の未来を担う小学生とジュニア合唱団との合同合唱、そして昨年、神奈川県を代表して第70回全日本合唱コンクール全国大会に出場された、清泉女学院中学校音楽部、日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ、La Pura Fuente、マルベリー・チェンバークワイア、合唱団やえ山組の各合唱団の記念演奏もお聴き頂きます。

県連事業の中で普段は様々なジャンルに分かれて活動されていらっしゃる皆様の情報を繋ぐという大事な役割を担って参りましたこのカノンも、お陰様で100号を迎えました。年間4回の発行ですから、25年間連盟の情報を発信し続けて参りました。今後も皆様の情報源として、また会員同士のコミュニケーションの一助となりますよう発行して参ります。

この一年も普通に合唱の出来る平和な日本である事を祈ります。

そして、皆様にとって実り多き一年となりますように。



神奈川県合唱連盟理事長 松村 努

# Kanon 100号記念特集

## “K”にまつわる エ・ト・セ・ト・ラ ～情報誌《カノン》はこうして生まれた～

1971年、私が37歳の時、副理事長に就任。村山紘也・山根一夫・関屋晋各氏3名の理事長の下、約20年間活動しました。

担当は、主に「ジュニア」部門と春の「合唱祭」——。1990年（56歳）の時、理事長に就任。ご存知のように「県連」は末端組織（全日本⇔関東⇔県）。全日本に連なるコンクールの要素の行事は当然として、その他、県下で合唱を愛し、楽しむ団体の集まりとして、県独自の活動を積極的に展開してきました。昔のことになりますが、例えば「ジュニア部門」を設け、毎年県下の各市を順番に廻って合唱祭を開催——これは全国に先駆け、神奈川県から始まったことです。

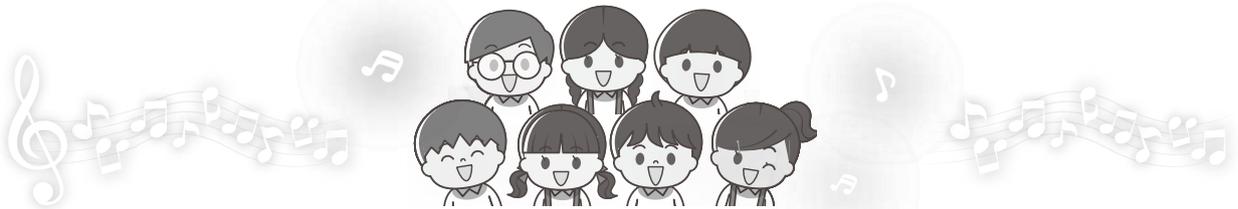
私が理事長になってから、今後の長寿時代の人生設計を考え、「一般」や「婦人」部から独立した「シニア」部門を開設、《ヴィサン（人生百歳）》ジョイントコーラス・フェスティバルを未加盟の団体にも呼びかけて開催、今年23回目を迎えました。その後多岐にわたる事業が増え、併せて加盟団体の増加に伴って、その都度、単に“お知らせ”と“募集”するのではなく、常に定期的に情報を発信する必要性から、情報誌「カノン」が誕生したのです。

神奈川県合唱連盟（県連）の頭文字の「K」と音楽用語の「カノン」（仏・伊・英は「C」から始まりますが、独語は「K」から始まる『Kanon』——）、この両方を併せたネーミングなのです。

「カノン」のものと意味は《規準》を意味するギリシャ語。——“主題（定旋律）”があって、時間的間隔を置いて“模倣”があって、“フーガ”に発展する。……県連もそのような活々とした発展を希う意味もこめたものです。今後も健全な活動の潤滑油として「カノン」の果たす役割は大きいと思います。

それにしても100号!! だなんて…ほんとうにおめでとう!!

吉田 孝古麿（神奈川県合唱連盟顧問）



カノン創刊号から99号まで

### Episode 1

#### 「カノン」てなあに？

創刊準備号（1992年12月20日発行）に掲載

**性 格** 神奈川県連の明るい情報紙

**スタイル** スリムなB5版、見開き4ページ

**家 族** 兄ひとり、名前は「ハーモニー」

**チャームポイント** 県連加盟合唱団のコンサート情報が得られる コンサート案内を無料で載せてもらえる

## カノン発行について

神奈川県合唱連盟情報誌カノンは、1993年4月に第一号が発行されました。当時は、事務局長の高橋賢次さんが、総会時に「県連だより」という機関誌を年1回発行されていました。しかし、それでは情報量に限りがあるため、それを補う形で年4回「カノン」の発行が始まりました。当初は県連だよりに内容が重複しないよう、県内の音楽ホール訪問記や加盟団体のコンサートガイドが中心の情報紙でした。大きさもB5サイズの8ページから始まりました。

発行を重ね、記事の内容も開催行事の報告や投稿記事など情報量が多くなってきたため、1997年より現在のA4サイズに、また、途中「情報紙」という名称を今の「機関・情報誌」へと変更しました。高橋賢次さんが亡くなってからは、県連の情報誌として、総会から始まるすべての行事報告に加え、様々な記事を掲載する現在の形となり、県連の貴重な活動の一端を担っています。

編集活動には大変なエネルギーが必要とされます。今までカノンに携わってこられた方々のご苦勞に感謝を申し上げます。また、カノンが200号300号と続きますよう応援してまいりたいと思います。

田中 実(前神奈川県合唱連盟事務局長)

## カノン発行100号おめでとうございます

私が神奈川県合唱連盟の理事を拝命したのは、20年くらい前でした。婦人部の理事として2期目に「おかあさんコーラス」の実行委員長を仰せつかりました。実行委員が女性ばかりでしたので、カノンの編集をなさっていた、清水稜平さんに「おかあさんコーラス」の実行委員をお願いしたところ、「じゃあ、カノンやってくれる?」という不純?な交換条件でお引き受けしたのを、懐かしく思い出しました。

当時は「ホール訪問記」がメインの記事で県内のホール(音楽ホール、多目的ホール、新しく出来たホール)等を訪問し、ホールまでのアクセス、ホールの歴史、音響等を館長さん、担当の職員の方に取材し、取材は編集委員が原則全員(4名)で行き、記事は持ち回りで書きました。文章を書くのが苦手な私には少々苦痛でもありました。仲良しの理事の皆さんで「ヴィサン」のV、「おかあさん」O、「カノン」K、の頭文字を取って「VOKの会」と名付け初夏には鎌倉へ紫陽花を愛で、年末には「築地ツアー」と称し築地へ行き、お正月の買い物をし、美味しいお寿司をいただいて帰るといったのが楽しい思い出の一つです。私にとっては楽しい思い出ばかりです。最後になりましたが神奈川県合唱連盟の更なるご発展と皆様のご健康を願っています。

秋田 千恵子(元神奈川県合唱連盟理事・事務局長)

## 県連機関・情報誌『カノン』は100号を迎えました!

神奈川県合唱連盟の創立は1958年(昭和33年)。60周年の今年、「カノン」もちょうど100号を迎えました。100号という節目を迎えて、創刊号から99号までを眺めてみると、改めて歴史の重みを感じます。創刊に尽力された吉田孝古磨先生をはじめ、編集にあられた歴代の理事や事務局の方々に感謝いたします。

当初はコンサートガイドを中心のB5サイズの冊子でしたが、次第に紙面は充実してA4サイズになりページ数も増えて、県連行事の報告のほか、県内の音楽ホール訪問記や合唱祭講師の先生方のフリートーク、「合唱と私」というコラムシリーズ、県内合唱活動訪問記など、充実した内容の記事が紙面を飾ってきました。

2013年7月号からタイトルデザインをリニューアルし、現在に至っています。加盟会員のみなさまの声を中心に、さまざまな行事の様子を生き生きとお伝えし、楽しく親しみやすい紙面となるよう心がけていきたいと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。

青山 道代(カノン編集長)

## Episode 2 ご存じですか?



82号からリニューアルしたKanonのタイトルに四季が盛り込まれています。4月号は桜、7月号はひまわり、10月号は紅葉、1月号は雪の結晶です。探してみてくださいね!

# 第23回ヴィサン《人生百歳》 ジョイント・コーラスフェスティバル in よこはま

『心』『身』の健康をテーマに、“ヴィサン《人生百歳》”の輪を全国に広げるフェスティバルも今年で23回目を迎え、11月8日(水)横浜みなとみらいホール大ホールにて開催されました。昨年は稀に見る降雪に見舞われましたが、今年は爽やかな朝を迎えることができました。講師には歌手であり作詞・作曲家のしゅうさえこ先生、作曲家の土田豊貴先生をお招きし、33団体(県外3団体)・約630名がみなとみらいホール大ホールに集まりました。今年もバッハのカンタータからJPOP、演歌までバラエティー豊かな合唱曲がホールいっぱいに響き渡り、皆さん色とりどりの美しい衣装をまとい、中にはテレビゲームキャラクターTシャツで揃えた団体もあり、耳にも目にも楽しいフェスティバルとなりました。

オープニングには当連盟顧問吉田孝古麿先生作曲の『歌があるから』を合唱し、“ジョイント”としてのイベントには、昨年好評だった『歌声コーナー』を各ブロックに設け、ピアノにアコーディオンを加えた豪華な伴奏で、秋・冬にまつわる唱歌・『高校三年生』等を参加団体、お客様と一緒に大合唱しました。手遊びゲームでは協賛のカンロ株式会社様からの賞品を目指し、会場は終始熱気に包まれていました。今年の初参加は5団体、どの団も素敵な演奏を披露してくださり、花束を贈らせて頂きました。全団体の中で90歳以上の参加者は5人(最高齢96歳)いらっしや、とても元気に歌われていました。これからも末長く歌い続けて頂きたいという願いを込めて、お一人お一人に舞台上で記念品をお渡しし、客席からも大きな拍手が送られました。講師の先生方の印象に残った団に贈られる『エフォル賞』が8団体、参加20回『ルパン賞』1団体、10回『プリュニエ賞』1団体、5～9回『サンク賞』3団体に贈られました。出演だけでなく、一日中会場が歌声と笑顔でいっぱいの楽しいフェスティバルになるよう、様々企画を練っていきたくと思います。来年度は2018年11月8日(木)みなとみらい大ホールにて開催されます。是非ふるってご参加ください。

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄



賞品はのど飴セットとトートバッグ



実行委員のみなさん

## 突撃インタビュー!

### ◆ リハーサル室前インタビュー

第1回目からの参加で、今回最多23回目出場の「合唱団ローズ」さんに伺いました。

演奏会の開催予定の前に指導者がステージを経験させたいということで、第1回目のヴィサンへの出場をきめました。

それから毎年出場していますが、横須賀から出てまいりますので、いつもラッシュの時間帯でみなとみらいまでは大変です。それでも横浜みなとみらいホールの大ホールで演奏できる期待と楽しみがあるので、ヴィサン出場を1年間の活動目標にもしています。指導者の井守征子先生はじめほとんどの団員が今日が23回目の出場です。

楽しんで歌ってきます!

歌声コーナー楽しかったです。「もみじ」の「も」抜きで歌ったのは難しかったです。脳トレにもなりました。アコーディオンも郷愁があって素敵でした。

(指揮者の先生)

## スタッフ体験記

ヴィサンのお手伝い、広いみなとみらいホールでの誘導係は初体験だったのですが、なるほど〜と感心する細やかな心配りがあちこちにありました。プラカードには担当する合唱団の動線と時間がわかりやすく貼ってあり、誘導する方もされる方も安心です。座席から移動する順番のひとつ前には会場係から声がかかり、客席内には段差のない座席が通路として確保されていて移動がスムーズにできました。

団員の皆さんも、集合に遅れる方にはお迎えが付き、お手洗いには付き添いがあり、衣装を整えるにもさりげないお手伝いがあり、和やかで温かい雰囲気。おおらかでマイペースながらちゃんと時間の流れには乗っているという素晴らしいチームワークです。

エレベーターで行き先ボタンを押すのを忘れていたりするドジな私にも飴を下さったり優しいのです。パワフルな歌声もあればおしゃれな選曲もあり、心に染みる歌もあり、衣装は華やかだし、なんと言っても皆さん楽しそう!こんな風にいつまでも歌い続けられたら本当に幸せだろうなあと思いました。

(誘導係)

## 第23回ヴィサン表彰団体

### エフォル賞(Aブロック)

- ◆ブルースカイ
- ◆コーロ・しるふれい
- ◆じゃおグリークラブ

### エフォル賞(Bブロック)

- ◆名前のない合唱団&ザ・リタイアリーズ
- ◆男声合唱団ゴールデン・ノーツ
- ◆一般社団法人ライフ・プランニング・センター「新老人の会」コールバンドナ&コーロ・アマカ
- ◆蒔田コーラス
- ◆男声合唱団ひびき

### ルパン賞(参加20回)

- ◆せやあじさいコーラス

### バンブー賞(参加15回)

- ◆なし

### プレュニエ賞(参加10回)

- ◆旭混声合唱団

### サンク賞(参加5回~9回)

- ◆コール響 (5回)
- ◆グラスボイス (7回)
- ◆来福寺合唱団「鹿の子」(8回)

### 初出場

- ◆相模グリーンハーモニー
- ◆アンサンブルららら
- ◆コーロ・アルモニア
- ◆エンジョイコーラス
- ◆蒔田コーラス



## 第72回 関東合唱コンクール (第70回 全日本合唱コンクール関東支部大会)

第72回関東合唱コンクールは、9月30日(土)に高等学校部門、10月1日(日)に中学校部門が静岡県アクトシティ浜松にて、10月15日(日)に大学職場一般部門が新潟県民会館にて開催されました。

神奈川県からの出場団体はそれぞれに練習の成果を発揮して、ホールいっぱいに素晴らしい歌声を響かせていました。出場団体の審査結果は以下の通りです。



### 中学校・高等学校部門

日程：2017年 9月30日(土) 高等学校部門  
2017年 10月 1日(日) 中学校部門  
会場：アクトシティ浜松

#### 本県代表団体の審査結果 (賞ごとに出演順)

#### 【高等学校部門 Aグループ】

- 金賞** 清泉女学院高等学校音楽部  
日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ (代表)
- 銀賞** 神奈川学園中学・高等学校女声合唱団  
桐蔭学園混声合唱部  
桐光学園高等学校合唱部

#### 【高等学校部門 Bグループ】

- 銀賞** 北鎌倉女子学園コーラス部  
県立湘南高校合唱部
- 銅賞** 県立多摩高等学校合唱部

#### 【中学校部門 混声合唱の部】

- 銀賞** 横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校  
横浜市立緑が丘中学校合唱部  
桐光学園中学校合唱部

#### 【中学校部門 同声合唱の部】

- 金賞** 清泉女学院中学校音楽部 (代表)

### 大学職場一般部門

日程：2017年 10月15日(日)  
大学職場一般部門  
会場：新潟県民会館

#### 本県代表団体の審査結果 (賞ごとに出演順)

#### 【大学職場一般部門・室内合唱の部】

- 金賞** マルベリー・チェンバークワイア (代表)

#### 【大学職場一般部門・同声合唱の部】

- 金賞** 小田原少年少女合唱隊  
La Pura Fuente (代表)  
湘南はまゆう

#### 銀賞 桐響学園「桐響会」

#### 銅賞 緑フラウエンコーロ

#### 【大学職場一般部門・混声合唱の部】

- 金賞** 合唱団 やえ山組 (代表) ※関東支部長賞を受賞
- 銀賞** 合唱団たまとも



大学職場 一般部門表彰式

# 第70回

# 全日本合唱コンクール全国大会

第70回全日本合唱コンクール全国大会は、10月28日（土）に高等学校部門、29日（日）に中学校部門が大阪のフェスティバルホールにて、11月25日（土）26日（日）に大学職場一般部門が東京芸術劇場にて開催されました。神奈川県からは大学コースを除くすべての部門に出場し、それぞれ素晴らしい成績を収められました。来年も引き続き多くの合唱団が活躍されることを願っています。



本県からの出場団体の審査結果は以下の通りです。

## 中学校・高等学校部門

日程：2017年10月28日（土） 高等学校部門  
2017年10月29日（日） 中学校部門  
会場：フェスティバルホール（大阪府）

### 本県から出場した団体の審査結果

#### 【高等学校部門 A グループ】

銀賞 日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

#### 【中学校部門 同声合唱の部】

銅賞 清泉女学院中学校音楽部

## 大学職場一般部門

日程：2017年11月25日（土） 大学職場一般部門  
2017年11月26日（日） 大学職場一般部門  
会場：東京芸術劇場

### 本県から出場した団体の審査結果

#### 【大学職場一般部門・室内合唱の部】

金賞 マルベリー・チェンバークワイア ※豊島区長賞を受賞

#### 【大学職場一般部門・同声合唱の部】

金賞 La Pura Fuente ※日本放送協会賞を受賞

#### 【大学職場一般部門・混声合唱の部】

銅賞 合唱団 やえ山組

### 全国大会に寄せて

今年度の全国大会への道りは決して平坦ではなく、多くの方々に支えられ励まされ、ようやく辿り着いた山頂のようでした。行きの新幹線から眺める富士山の雄姿が裾野まで広がり、秋空に映えて美しく感動的でした。朝早くからの長旅でしたので、生徒たちは大阪まで思い思いに過ごしました。



今年度の課題曲「朱の小箱」と自由曲「妖精の距離」は共に

鈴木輝昭先生の作品。それぞれの曲の特色や風合い、情景などを十分に話し合ってきました。シュールリアリズムの瀧口修造の世界をどう理解し表現するか、人にどう伝えるべきかをよく考えましたが、演奏する機会が多くなるにつれ、作品の素晴らしさを感じ、理想の演奏が見えて来たように思いました。

大阪フェスティバルホールにおける出演順一番の歌声は、女性ならではの優しい感性と生き生きとした生命力に溢れる響きとなって、聴いて下さる方々の心に届いたと信じています。

コンクールを支えて下さいました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

日本女子大学附属高等学校コーラスクラブコーチ 丸山 恵子

平和を祈る清泉サウンド!!

今年の合言葉は《目指せ!USJ》。元気よくスタートをきったものの、中学3年生が少なくメンバーの2/3がコンクール初参加という厳しい状況。10月29日に高い天井と2,700席を有する超豪華なフェスティバルホールに到着した時は、皆、大感激でした。演奏曲は、鈴木輝昭氏作曲「とおく」、ハン



© 撮影 スタッフ・テス

ガリーの新進作曲家 Levente Gyöngyösi 氏作曲の“Cantate Domino”、憂うべき国際情勢の中、平和な世界を築く力を持

てますようにと祈りと熱い願いを込めて歌いました。平均律と純正律を歌い分けつつもりでしたが結果は銅賞。ちょっぴり残念だった生徒たちも、翌日はUSJにてハリーポッターのアクションを楽しみ大満足で帰路につきました。今年、アメリカ合唱指揮者協会主催の“Choral Festival”にて日米中国の合唱団で“Heiwa”の大合唱をし、またチャリティーコンサートにも積極的に取り組んできました。社会の不条理から目を背けず、合唱を通して微力ながらも世の中のお役に立てるように、今後も活動していきたいと思ひます。

合唱連盟の方々、そして神奈川県の皆様、温かな応援をありがとうございました。

清泉女学院中学校音楽部 顧問 佐藤 美紀子

歌い易かった芸術劇場

第60回の全国大会の東京文化会館は、各階での音の響きが異なったのを覚えています。今回の東京芸術劇場は音の伸びが自然でした。県連から頂いた祝電に喜び、東京都連の皆様の、温かい支えに感謝しました。

特別コンサートでの藤井宏樹先生指揮による過去の課題曲の演奏は、70周年にふさわしい見事な演奏でした。

私達は課題曲のプーランクでppの意味と、音の揺らぎの表現の難しさを感じました。自由曲の「怒りの日」はチェコの作品で最後の審判の様子を、2曲目ではオーストラリアの山の一つの「ベアーブラム山」を描き、上陸して伝統

を壊していく白人と、プライドを持って耐え抜く先住民アボリジニの対比を演奏しました。



2018年は7月31

日に小田原少年少女合唱隊55周年&マルベリー・チェンバークワイア20周年記念演奏会を開催します。世界情勢が不安である今こそ、心をこめて歌いたいと願っています。

マルベリー・チェンバークワイア 桑原 妙子

第70回全日本合唱コンクールについて

今年は4年連続4回目の出場となり、同声合唱部門にて金賞、並びに日本放送協会賞を頂くことができました。清泉女学院のOG団体として活動し始めて8年の時が経った今、中高時代よりそれぞれが培ってきた様々な経験が声となり、そしてその声が集まって新たな「清泉サウンド」



を作り上げられたのではないかと思います。

自由曲は清泉女学院音楽部の委嘱曲であり、キリストが十字

架にかけられる受難の場面で唱えられたと言われている詩篇を歌いました。カトリックの学校で学んだ私達にとって馴染み深い信仰や希望、愛の精神が込められた作品となっています。

全国大会が第70回という節目の年に、東京芸術劇場で私たちの歌を表現し、届けられたこと、誇りに思っています。そして神奈川県合唱連盟の皆様、家族、関係者の皆さまにあたたかい応援と励ましを頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

La Pura Fuente 吉田 裕香

毎回、好きな時に集まって、演奏会開いて、またしばらくサヨナラというサイクルを繰り返してきた我々にとって、合唱コンクールに出るというだけで非常に挑戦的なことでした。

演奏会終了後神奈川県大会まで3か月。普段は全く練習が入らないこの時期に本当に人は集まるのか?初めてのフランス語は形になるのか?というところからスタートし、まさかまさかの全国大会出場で、組員一同驚きながらのチャレンジとなりました。

本番当日は弱音の作り方に苦戦し、すべてを出し切れたとは思いませんが、初めての芸劇で楽しんで演奏出来ましたし、他団体の素晴らしい演奏も聴くことも出来たので、出場でき

て本当に良かったです。

また一つの曲にこれほど深く取り組んだことは初めてでしたので、非常にいい経験になったと思います。



最後にこのような貴重な場を提供し続けてくださっている合唱連盟の皆様、応援くださった皆様、会場で聴いてくださった皆様、そして組員を支えてくださっているご家族、ご友人の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

合唱団やえ山組 青山 俊輔

# 第52回クリスマス音楽会 「メサイア」全曲演奏会

神奈川県立音楽堂主催の「第52回クリスマス音楽会『メサイア』」が12月10日小泉ひろし氏の指揮で開催されました。今年は、24団体から95名が参加、他に音楽堂が主催する「『メサイア』未来プロジェクト」で高校生約60名が参加しました。このプロジェクトは、50年以上の伝統ある「メサイア」を次代に継承すべく県内の高校生に呼びかけられました。一昨年からは全曲演

奏を達成し、今回は「未来プロジェクト」のOBも参加しています。これにより県立音楽堂「メサイア」が次代に引き継がれていく目途がついてきたと言えます。

演奏は指揮者が最高の笑顔で振り終わるほど素晴らしいものでした。観客もとても満足し、カーテンコールが10分以上も続きました。

メサイア実行委員長 志澤 彰

指 揮：小泉 ひろし  
ソプラノ：山口 清子  
ア ル ト：上杉 清仁  
(カウンターテナー)  
テノール：谷口 洋介  
バリトン：加未 徹  
チェンバロ：長久 真実子  
オルガン：宇内 千晴  
合 唱：神奈川県合唱連盟  
(合唱指揮：松村 努)

音楽堂「メサイア」  
未来プロジェクト合唱団  
(県立光陵高等学校、  
県立相模原中等教育学校、  
県立多摩高等学校、  
法政大学第二高等学校)

管 弦 楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

## メサイアに出演した 高校生の感想

- ◆今年のメサイアは、練習から本番まで小泉先生から笑顔が消えることなく、音楽と一緒に作っていているのだなと感じられたことが何よりも嬉しかったです。
- ◆メサイアのようなクラシックの音楽にはあまり馴染みがなかったのですが、今回出演してその世界観に圧倒されました。会場を包み込むオーケストラの響きとソリストの歌声に感動し、人生においてとても貴重な経験を積むことができました。
- ◆昨年は聞けなかった歌詞やキリストの生涯についてのお話も今回新たに沢山聞くことができ、練習中から曲にしっかりと入り込めました。
- ◆練習の雰囲気はとても明るいけれど、曲を作るための緊迫感は途絶えない集中があり充実していました。大人の方と交流できたことも、貴重な体験でした。いつも場の雰囲気を作ってください、本当に合唱を愛している気持ちが伝わってきて感動しました。



# リレーエッセイ No.19 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを  
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は **松崎 陽治** 先生です。

## 今さらながらの プロフィール・三つの場面

其ノ一「生まれ故郷の風景」

八十数年前、熊本は阿蘇外輪山の麓、南小国村の山里に産声をあげました。幼き頃より外輪山いっばいに広がる夕焼けや、今にも西の山の端に沈もうとする三日月の、妖しくも美しかったことを忘れることはありません。

私の生まれた故郷は、團伊玖磨作曲で有名な「筑後川」の源流で、外輪山から流れ出す馬場川のほとりにあり、今も10メートルほどの川幅の中を清流が草木の間を縫うようにサラサラと流れています。やがて馬場川は他の村から流れ出た支流と合流し、いつの間にか杖立川に。さらに雄大さは増し、大分県を流れる頃には筑後川と名を改め、遠く有明海に注ぐのです。



其ノ二「横浜グリークラブ第13回定期演奏会プログラム」より

1957年横浜国立大学学芸学部卒業と同時に横浜グリークラブに入団。トップテナーとして参加。その間、横浜市教職員として1995年退職まで、音楽教育に力を注ぎ児童生徒はもとより教職員の指導にも情熱を傾ける。1994年、トップテナー兼正指揮者に就任。

声楽を奥田良三氏、指揮法を金子登氏に師事。音楽の厳しさと優しさを歌う心として学び、そのことを信条としてより豊かな表現を団員と共に目指している。

其ノ三「横浜少年少女合唱団80周年定期演奏会常任指揮者あいさつ」より

人は何かを創り出す時、素晴らしい英知とエネルギーを放出します。そこに人としての魂の高まりと美しさが生まれ、感動が呼び起こされるのです。ここに集った110名の子供たちは「合唱」という行為の中で、単に声を出し歌うというだけではなく、楽音や言葉を通じ、音楽を創り上げる喜びや感動を誰かに伝えたいという気持ちでいっぱいなのです。

子供の持つ無限の可能性を信じ演奏致します。

今回、改めて自分史を振り返る機会を頂いた事に感謝致します。

次回は合唱アンサンブルの魔術師・吉田千鶴子先生にお願いしました。

次回は吉田 千鶴子先生にお願いしました。

## ～はじめまして～ 県連新加盟団体

今年度、合唱連盟に加盟された合唱団のご紹介コーナーです

### アンサンブル歌織



皆様、はじめまして、アンサンブル歌織です。  
相模原市橋本を拠点に活動している混声合唱団  
です。10年になりました。  
団の名前『歌織』の由来は、歌の持つ様々な想  
いを、織物を織る様にすてきなハーモニーで奏で

てゆきたいという発想から生まれました。

ご指導いただいている大沼ケイ先生は常に、な  
るべく多くの本番で沢山の経験を積むことが合唱  
団の力を付ける…とおっしゃいます、そんなケイ  
先生の下、楽しく少し厳しい練習を頑張っていま  
す。

今年の11月23日に第4回アンサンブル歌織  
定期演奏会をおこないます。

この演奏会でミサ曲、フォーレ作曲「レクイエ  
ム」を歌うことになり団員一同演奏会に向け、練  
習にはげんでいます。

そして、神奈川県合唱祭も頑張ります。宜し  
くお願いします。

(中嶋 富子)

### コーロ・メロディーア

こんにちは。コーロ・メロディーアです。メロ  
ディーアとは、美しいしらべという意味です。

横浜市磯子区の汐見台小学校PTAコーラスの  
OGが中心となり、2014年7月に、6名で活動を  
始めました。草田由香里先生の、笑わせて育てる  
指導が魅力的で、どんどん友達の輪が広がり、今  
では28名になりました。

金曜日の夜、屏風ヶ浦ケアプラザに集まって、  
「からたちの花」や、「美女と野獣」「アヴェ ベ  
ルム コルプス」など、ジャンルにとらわれず、  
美しいハーモニーを目指して練習しています。

磯子公会堂や、杉田劇場、港南区ひまわりの郷  
などのステージを経て、今年、初めて県立音楽堂  
で歌うことができ、大変感動しました。

これからも、楽しく歌って、飲んで、笑って、  
充実した時間を過ごしていきたいと思っています。

(山浦 かえで)



# カノンコンサートガイド

2018年 2/12 (月・振替休)	<b>日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 第48回定期演奏会</b> 13:30～ 日本女子大学西生田成瀬記念講堂 大ホール 入場料：無料 お問合せ：山田 真里 044-952-6711 「反応-風の受胎」鈴木 輝昭作曲、「ふるさとの夜に寄す」三善 晃作曲、「雪の蝶」土田 豊貴作曲 他
3/3 (土)	<b>合唱団 Rond 第8回演奏会</b> 13:30～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：無料 お問合せ：石川 080-5543-4019 「サラダ記念日」「そのひとがうたうとき」和合 亮一さんの朗読とともに「静かな音楽のあとで」他
3/18 (日)	<b>ボカ・グランデ他 名島啓太とみんなの30年 指揮者生活30周年記念演奏会</b> 14:00～ 東京都北区 北とぴあ さくらホール 入場料：2,000円(学生1,000円) 全席自由 お問合せ：山岸 090-4386-5047 E-mail: nazy30thanniversary@gmail.com 指揮者ゆかりの11合唱団が集結、4作曲家による「連作ミサ」初演を含む珠玉の合唱曲の数々を演奏します。
3/21 (水・祝)	<b>湘南高校合唱部 春の定期演奏会</b> 14:00～ 鎌倉芸術館 大ホール 入場料：無料 お問合せ：岩本 0466-26-4151 2台ピアノとの共演やシアターピース、森田 花央里作品初演他、国や時代を超えた多くの歌をお届けします。
3/21 (水・祝)	<b>相模原市少年少女合唱団 第51回定期演奏会</b> 13:30～ 相模原市民会館 入場料：無料 お問合せ：市立青少年学習センター 042-751-0091 <a href="http://www007.upp.so-net.ne.jp/hibikeutagoe/">http://www007.upp.so-net.ne.jp/hibikeutagoe/</a> 小学生～高校生の団員が51年目の新たな歴史を感じながら、日頃の練習の成果を明るく歌います。
4/4 (水)	<b>グロリア少年合唱団 第56回定期演奏会「音楽劇 シューベルトものがたり」</b> 18:30～ 戸塚区民文化センター さくらプラザ4階 入場料：1,500円(全席自由) お問合せ：松村 TEL&FAX 045-825-0522 <a href="http://gbc.jp/">http://gbc.jp/</a> 園児から高校生までが総出演し、演じて歌う楽しい舞台です。グロリア少年合唱団では団員随時募集中です。
4/15 (日)	<b>戸塚混声合唱団 第17回演奏会</b> 14:00～ 横浜市泉公会堂 入場料：1,000円(全席自由) お問合せ：045-851-8315(阿部) eiichi77@etude.ocn.ne.jp(鈴木) 指揮：星野 聡 ラター「レクイエム」グランペーネ管弦楽団、信長 貴富「赤い鳥小鳥」、筑後川 ピアノ：矢野 円佳
4/26 (木)	<b>グリーンベル女声合唱団 40周年記念コンサート</b> 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円 お問合せ：茅野 090-9320-5958 40年変わることなくご指導をしてくださる先生に恵まれ、40年歌い続けている団員と共に、心を込めて歌います。
4/28 (土)	<b>JOYシンガーズ 6th Concert</b> 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問合せ：飯野 俊子 045-543-3008 指揮：安達 陽一 ピアノ：秋野 淳子 信長 貴富「うたを うたう とき」、相澤 直人「みえない手紙」、Ivo Antognini作品他

前号のコンサートガイドに誤りがありました。  
1/24(水) 女声合唱団 横浜木せい会 第8回 創立80周年記念演奏会  
正しくは **創立30周年記念演奏会** です。  
大変申し訳ございませんでした。

＜お詫びと訂正＞

## 第58回「音楽堂・おかあさんコーラス」事前抽選会のお知らせ

第58回「音楽堂・おかあさんコーラス」は、音楽堂改修工事のため、神奈川県民ホールにて2018年10月2日(火)、3日(水)2日間の開催となりました。事前アンケートで多数の参加希望があったため、事前に抽選会を行い参加団体を決定いたします。

募集要項は1月下旬に送付、2月末め切の予定です。

事前抽選会：2018年3月20日(火)10:00より 神奈川県立音楽堂

## 県連からのお知らせ <被災地の合唱活動復興のための義援金について>

神奈川県合唱連盟では、2016年の熊本地震により被害にあわれた皆様を支援するとともに、特に被災地の合唱活動復興のための義援金の募集をいたします。お寄せいただきました義援金は、全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託します。皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

おかあさんコーラス神奈川県大会、第27回コーラスワークショップ in 横浜での募金箱へのご寄付 31,100円

**【郵便振込】口座記号・番号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟**

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

## ☆コンサートガイド掲載要綱☆

### ◆無料掲載：「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

### ◆有料掲載：1/8<sup>円</sup> ¥2,500、1/4<sup>円</sup> ¥5,000、1/2<sup>円</sup> ¥10,000、1<sup>円</sup> ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにつきましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

## 神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2018年2月～2018年12月)

- |  |                                   |                             |
|--|-----------------------------------|-----------------------------|
| ●第41回神奈川県合唱フェスティバル<br>(神奈川県合唱連盟創立60周年記念イベント) | 2018年 2月11日(日・祝)                  | 県立音楽堂                       |
| ●第20回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト                    | 3月 4日(日)                          | 県立音楽堂                       |
| ●神奈川県ジュニア合唱祭                                 | 3月29日(木)                          | フォーラム戸塚                     |
| ●第41回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会                      | 4月21日(土)                          | やまと芸術文化ホール                  |
| ●2018年度定時総会                                  | 5月19日(土)                          | かながわ県民センターホール               |
| ●第61回神奈川県合唱祭(4日間)                            | 6月9日(土)・10日(日)<br>6月23日(土)・24日(日) | 相模女子大学グリーンホール<br>鎌倉芸術館 大ホール |
| ●第61回神奈川県合唱コンクール<br>(第73回関東合唱コンクール神奈川県大会)    | 8月18日(土)・19日(日)                   | 相模女子大学グリーンホール               |
| ●第24回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル             | 11月 8日(木)                         | 横浜みなとみらいホール(大)              |
| ●第53回メサイア演奏会(主催:県立音楽堂、協力:神奈川県合唱連盟)           | 12月 8日(土)                         | 相模女子大学グリーンホール               |

編集後記：人間には教育と教養が必要。それは年を重ねると、今日行くところ、今日やる用事が大切という意味なのだそうです。やりたいこと、行きたいところがあり、会いたい人がいるというのは素敵なことです。合唱で楽しい人生を！！  
(編集長 青山 道代)

## 神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 松村 努 編集責任者：青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金（休祝日を除く）12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス [kanagawakenren@nifty.com](mailto:kanagawakenren@nifty.com)

